

授業科目	口腔インプラント学（インプラント再生補綴学）		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	口腔顎顔面外科学分野，口腔顎顔面外科学分野，歯周病態学分野，歯科麻酔・特別支援歯学分野，口腔生化学分野
年次・期別	1年次～4年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室，第三総合診療室，インプラント再生補綴学分野研究室	担当者電話番号	086-235-6680（窪木拓男：指導医） 086-235-6682（荒川 光：チーフ）
担当教員	【研究科】教授：窪木拓男，助教：荒川 光，助教：木村 彩 【病院】講師：完山 学，助教：園山 亘		
一般目標	口腔インプラント学に関わる広い学識と高度な専門技能を取得し，口腔インプラント専門医としての素養を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔インプラント治療に必要な解剖学，骨代謝学を理解できる</li> <li>2. 口腔インプラント治療の臨床成績を他の欠損補綴法と比較し説明できる</li> <li>3. トップダウントリートメントの意味を理解し，治療計画を立案できる</li> <li>4. 必要な診査や検査を行い，インプラント体埋入手術を安全・確実に行うことができる</li> <li>5. 口腔インプラント治療における暫間補綴物の意義と目的を理解し，実践する</li> <li>6. 口腔インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を理解し，実践できる</li> <li>7. 必要性を判断し，骨移植やGBR，サイナスリフト，スプリットクレフト，即時負荷，抜歯即時埋入を行うことができる</li> <li>8. 適切な咬合を付与したインプラント義歯を製作できる</li> <li>9. 歯周組織に調和した審美補綴装置作製に必要な要件を理解し，説明できる</li> <li>10. 口腔インプラントによる治療効果を判定できる</li> </ol>		
講義概要	<p>1) 口腔インプラント学講義：担当は講義日程参照 口腔インプラント専門医に必要な解剖学，骨代謝学，生理学などの基礎科目を基礎系分野の協力を得て学習する。口腔インプラント治療の意義，目的，手段，方法などの基本事項から骨移植やGBR，サイナスリフトなどの骨造成術，即時負荷，抜歯即時埋入，静脈内鎮静法などの応用事項を学習する。また，神経因性疼痛などの偶発症について診断治療ができるよう学習する。</p> <p>2) 模型・ブタ顎骨を用いた基礎実習：窪木拓男，完山 学，荒川 光，園山 亘，木村 彩 ファントム模型を用いたインプラント体埋入実習やアバットメント連結，印象採得，暫間補綴装置作製実習を行う。さらにブタ顎骨を用い，粘膜切開やドリリング，インプラント体埋入，各種縫合法を実習する。</p> <p>3) 口腔インプラント患者治療（臨床実習）：窪木拓男，完山 学，荒川 光，園山 亘，木村 彩 口腔インプラント患者の治療を行い，指導医とのクリニカルクラークシップを通して治療の実際を体得する。また，治療前には症例検討会において，進行状況を報告する。その時点での結果，問題点の解決策，考えられる解釈などに関する議論を展開し，参加者からの質問，意見に回答する。これらの積み重ねにより，論理的思考と議論展開の基礎を学ぶ。</p> <p>4) 症例検討会（演習）：関連教員 患者配当ごとに治療計画・内容を過去のエビデンスと対比させ，論理的・科学的に担当指導医とディスカッションする。</p> <p>5) 各種セミナー（演習）：関連教員 国内外を問わずセミナーを積極的に受け，治療・研究の最先端の知識ならびに研究者の議論展開を学ぶ。これはあらゆる知識を得るため，他教室主催のものも積極的に受けることを強く推奨する。</p> <p>6) 学会参加（講義，演習） 日本口腔インプラント学会に参加し，他発表者の論理展開を理解する。それにより，学内のみならず，学外の研究者との交流によって議論を発展させ，より深い追求心が生まれる。また，日本口腔インプラント学会の認証医（2年間），専門医（5年間）取得のために，学術大会参加，専門医研修セミナーに参加し，知識を深める。また，臨床症例報告ができるように準備しておく。</p>		
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるため，その都度指示する。ただし，指示せずとも，自ら見出す方が望ましい。		
成績評価基準 成績評価方法	1週間に3回，教授を交えて，治療法に関する議論を展開する。その内容と，日ごろの治療姿勢，セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。		
研究活動との 関連	研究室では口腔インプラント学に関する研究（臨床疫学研究，骨代謝研究，骨再生研究）ならびに高度な口腔インプラント臨床を行っており，その延長線上に，この授業科目が存在している。		

基礎実習	模型，ブタを用いた基礎実習は，1年次に1度行う
臨床実習	臨床実習は，最初の10症例まではアシスタント，その後はクリニカルクラークシップにより全てのステップを20症例以上実習する
症例検討会	症例検討会は，患者配当ごとに担当指導医と行い，年3回（開催日は未定）の症例発表会で発表する
講義日程	<p>講義は，毎月第3木曜日，歯学部棟4階第二示説室にて指導教員および特別講師が行う．現時点の講義予定を以下に示す．変更になる場合には，登録大学院生に事前に通知する．</p> <p>2009/04/16：口腔インプラント学総論 窪木拓男  2009/05/21：これからのインプラント外科の方向性 植野高章  2009/06/18：口腔インプラントの基礎知識，基礎生物学 完山 学  2009/07/16：画像検査／CTシュミレーションによる診査・診断  2009/08/20：全身管理の基礎知識 宮脇卓也  2009/09/17：欠損補綴の臨床エビデンスとTop Down Treatment 荒川 光  2009/10/15：Bone Augmentation 目瀬 浩  2009/11/12：インプラント補綴の基礎（印象採得，上部構造作製） 園山 亘  2009/11/26：上部構造作製のための技工術式  2009/12/17：模型実習（インプラント埋入，補綴手技） 関連指導教員  2010/01/21：Immediate Solution（即時負荷・即時修復の基本手技）  2010/02/18：審美修復を可能にする最新の歯周外科と補綴治療  2010/03/18：メンテナンスを考える</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第39回（社）日本口腔インプラント学会・学術大会  （第29回 社）日本口腔インプラント学会中国・四国支部総会学術大会併催）  日時： 平成21年9月25日（金）・26日（土）・27日（日）  会場： 大阪国際会議場（グランキューブ）</p>